

## 秋 平成28年度(2016) 秋季地区大会

B(希望ヶ丘)	希望ヶ丘	荏田	磯子	港北	勝点	得失	順位
希望ヶ丘		12-1	5-7	8-0	6	17	2
荏田	1-12		1-13	9-1	3	-15	3
磯子	7-5	13-1		8-1	9	21	1
港北	0-8	1-9	1-8		0	-23	4

## 平成28年度(2016) 秋季県大会

## 【1回戦】

9月3日 百合丘高

希望ヶ丘 0 0 1 0 3 1 0 0 7 | 12

百合丘 0 0 1 0 2 4 1 0 0 | 8

(希) 白井-新川

(百) 増田、金城、大堀、腰原-戸羽

▽三塁打 白井2(希)

▽二塁打 驢、小出(希) 増田、佐保田、戸羽(百)

## 【2回戦】

9月5日 湘南学院高

希望ヶ丘 0 0 0 0 1 0 1 0 0 | 2

湘南学院 1 0 1 1 1 1 0 0 x | 5

(希) 小出-新川

(湘) 森、神山-荒木

▽三塁打 高橋(湘)

▽二塁打 小出(希) 加賀(湘)

## 春 平成29年度(2017) 春季地区予選

E(希望ヶ丘)	希望ヶ丘	新羽	氷取沢	横浜翠陵	勝点	得失	順位
希望ヶ丘		9(不戦勝) 0	8-0	8-5	9	20	1
新羽	0(不戦敗) 9		0(不戦敗) 9	0(不戦敗) 9	0	-27	4
氷取沢	0-8	9(不戦勝) 0		11-1	6	11	2
横浜翠陵	5-8	9(不戦勝) 0	1-11		3	-4	3

## 平成29年度(2017) 春季県大会

## 【2回戦】

4月15日 金沢高

希望ヶ丘 0 0 0 0 0 0 0 | 0

橘学苑 3 0 2 0 1 1 x | 7

(希) 白井-鈴木

(橘) 森屋-米田

▽二塁打 鈴木、渡邊3(橘)

## 第99回全国高校野球選手権神奈川大会

## 【1回戦】13日 俣野公園・横浜薬大スタジアム

試合時間2時間36分

希望ヶ丘 0 0 1 0 0 0 3 3 6 | 13

金沢総合 0 1 2 0 0 0 1 0 1 | 5

(希) 白井、小出-新川

(金) 川元、伊差川、三橋、櫻井-小地沢

▽三塁打 鈴木2(希)

▽二塁打 小出(希) 勝又(金)

▽犠打 鱸2、貞方2、鈴木、池上、高橋、橋本(希) 三橋、櫻井2(金)

▽盗塁 鱸、貞方、高橋(希) 栃原、三橋2(金)

▽失策 三橋(金)

▽暴投 白井3(希)

## 【2回戦】17日 保土ヶ谷球場

試合時間1時間31分

希望ヶ丘 0 0 0 0 0 | 0

日大藤沢 0 2 2 4 2x | 10

(五回コールド)

(希) 白井、小出-新川

(日) 武富-堀口

▽三塁打 菅原、田口(日)

▽二塁打 堀口、(日)

▽犠打 菅原、小松、西方、重村(日)

▽盗塁 西方(日)

▽失策 鈴木、小出(希)

▽暴投 白井、小出2(希)

仲間、経験、情熱。人生でたったの3年間しかない高校野球という特殊な環境で得たものは、私の人生において何物にも代え難い宝です。

私は1年の入学時から上級生の試合に出場させてもらうことが多く、2年に上がってからはチームの中心選手としてチームを引っ張るという意識を芽生えさせることができました。しかし、本当の意味でのチームを引っ張るということ先輩方が担ってくれていたことに自分自身が最上級生になった時に気が付きました。

私は元々キャプテンになる存在ではなく、自分自身のことをプレーでチームを引っ張る立場だと考えていました。私よりもキャプテンに適した人材がいたからです。しかし、ある事情により私がキャプテンに任ざれることになりました。当初の私は、「自分は周りの信頼や尊敬を集められるような立派な人間ではない。皆をまとめられるようなことはできない」と考えていました。

新チームが始動しました。そこで私は大きな勘違いをしていることに気が付きました。「自分がチームの象徴として、厳しく皆をまとめ、導かなければならない」、という考えとは裏腹に、チームメイトたちは各々が自分の中での正義を持ち、ひたむきに野球に向き合っていました。誰に言われるでもなく、毎朝授業が始まる前から自主練習をするため自然とグラウンドに集まってくるようになり、オフの日にもグラウンドになぜか足が向いてしまう。練習が終わった後にも、気が付いたら皆で素振りをしている。そんな異常な生活を当たり前だと思い、過ごしていました。だからこそ、練習中でも試合の後でも、お互いの気になった部分に関しては遠慮なく指摘をし、それに真摯に応える信頼関係を育むことができました。そしてまた練習を繰り返す。

野球に対する情熱、死線を潜り抜けた経験、誰よりも濃い時間を共にした大切な仲間たち。この高校野球という特殊な環境で培ったものは、「私」という人間に大きく影響を及ぼし、切っても切り離すことのできない“私の宝”です。

K70 主将 鱸将矢